

ほんべつ 議会だより

No.65

平成25年5月1日発行



おいしくできるかな

3月29日 楽しもう！図書館春休みの巻（図書館・中央公民館）



第1回定例会

平成25年度一般会計他8会計の新年度予算等を可決

平成25年第1回定例会は3月5日に開会し、一般質問のほか一般会計他8会計の新年度予算、本別町暴力団排除条例の制定などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例

- ・本別町特別養護老人ホーム設置条例の一部改正
- ・本別町障害者地域生活支援事業条例の一部改正
- （国の法律が改正したことにより条文の文言等を改正）

- ・本別町暴力団排除条例の制定
- 本条例は、暴力団を排除し、町民の安全で平穏な生活の確保、社会経済活動の健全な発展及び青少年の健全な育成を図るため制定するものです。

- ・本別町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
- 国の法律の施行に伴い、新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発せられた時に町として対応するため条例を制定するものです。

- ・地域主権一括法関連による条例制定及び一部改正
- 本別町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 他9件

一般会計補正

生活維持路線運行

（浦幌―本別線）

問 業務委託料の増について、その内容は。

答 24年度は子供たち（高校通学）が増え、部活動の利用など運行回数が大巾に増加をしました。また、一般の通院、買い物等利用も増加し、当初見込みより大幅にふえた状況です。



普及を目指すソーラーシステム



利用増の浦幌線

住宅用太陽光発電システム導入

問 補助金が10件分減額補正になっていますが、やはり導入にあたってのメリット等、利用者の声を町民にお知らせをし、利用増を推進しては。

傍聴者名簿の記載の方法を変更しました

今までは、連記式で順番に名簿に記載していただいていたのですが、個別式で、氏名を書いた紙を、投函箱に入れていただくことにいたしました。

6月定例会は4日から予定しています

議場前のスペースを、傍聴者の方が気軽に休憩していただける場所にいたしました。是非、一度傍聴にお越しください。

答

35件の設置した方アンケート調査を行い、広報の中でPRをして普及に努めます。

平成24年度 各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(2億9,472万8千円)	向陽町団地修繕工事 福祉灯油、除雪ダンプ購入 (臨時会)
	(330万4千円) 69億8,578万6千円	燃料費 国民健康保険特別会計繰出金 介護保険事業特別会計繰出金 水道公営企業補助金 簡易水道繰出金 基金積立金 (定例会)
国民健康保険	(△1,831万8千円) 13億3,766万2千円	一般被保険者、退職被保険者高額療養費事業減 基金積立金減額
後期高齢者医療	(△12万8千円) 1億1,374万8千円	後期高齢者医療保険料及び広域連合納 付金確定による調整減
特別会計 介護保険	(4,939万円) 8億7,916万9千円	介護サービス給付費事業 高額介護サービス給付費事業 特定入所者介護サービス費事業
介護サービス事業	(△172万5千円) 2億8,142万9千円	代替賃金執行額確定による減 医療廃棄物処理委託料減
計 簡易水道	(654万円) 9,747万9千円	燃料費、光熱費 美里別簡易水道2施設の無停電電源装 置バッテリー交換等
	(1,220万円) (△273万4千円) 5億733万9千円	栄町公住建替に伴う污水管渠新設工事、 終末処理場機器更新工事 (臨時会) 高圧洗浄機更新 町債償還利子借入実行による減
水道事業会計	(△773万円) 2億2,730万1千円	国道242号道路拡幅工事に伴う水道管 移設工事確定による減
病院事業会計	(△1,198万9千円) 15億2,340万4千円	在宅酸素濃縮装置借上料減 医療器械器具購入費確定による減

※第1回臨時会含む

14回目のナイター議会 に31名の傍聴者

3月12日午後6時から役場3階議場でナイター議会が開催され、5議員より5問の一般質問がありました。



傍聴者アンケートから

問 一般質問について、どのように感じられましたか。

- ・ 町民が知りたい質問が聞けなかった。(財政、産業振興など)
- ・ 今回は町民になじむ議題でよかった。
- ・ 答弁が長かったので、要点でお願いしたい。

第1回臨時会

開催日 2月18日

栄町公営住宅建設

国の緊急経済対策事業に係る補正予算の質疑

問

今回の公住建替にあたり、高齢者に配慮した、まちなかでの建設地の検討はありましたか。

答

従前から検討はしていますが、高齢者対応の住宅等で、特に具体的に力を入れている部分は、町の中の向陽町団地について、バリアフリーを含めた整備を最優先で進めていくことです。



栄町公営住宅建設予定地

議会用語の解説

《予算審査特別委員会》

新年度予算の審議を行う特別委員会、議会の議決により設置します。

議長を除く11人の議員で構成します。

議長は、審議には参加しません。審議の様子を自席で傍聴しています。

町長(各課長)から各会計予算の提案説明を受け、予算委員長(総務常任委員会、産業厚生常任委員会)の2常任委員長の持ち回り)を決めます。その後、議会を休会とし、休会中に「各会計予算審査特別委員会」を開催、質疑や討論、賛否の表明を行います。この予算審査の結果を再開した議会で議決します。

一般質問

6名の議員から10問



行政

行政改革の取り組みとこれからの進め方は
答 平成25年度から見直しを行います



大住啓一議員

大住議員 本町の行政改革の取り組み状況と今後の進め方について伺います。

①補助金については、自治会、高齢者の方々の団体、更に子育て中の方々の団体等補助金を見直す時期とありますが、町長の考え方は。

②使用料は、町民の方々の健康管理を図る観点からパークゴルフ場、他施設の使用料の見直しが必要と思いますが、③課の統廃合ですが、現在の課の体制がある程度元に戻すことも含めて、考え方は。

高橋町長 行政改革の取り組みは、町民の皆さんの代表である、行政改革推進委員会と

行政による行政改革推進本部を設置進めてきました。

①補助金につきましては、評価基準に基づき見直し検討します。

②使用料は、3年程度をめぐりに見直しを図り、パークゴルフ場についても25年度に検証します。

③組織機構の見直しは、課部局が大きくなり、課題も出てきたことも事実であり、26年度見直しに向け、検証作業を進めています。



使用料を検証するパークゴルフ場

消防広域化の状況について

答 平成28年4月の運用開始を目指します

大住議員 消防は、町民の皆さんの生命と財産を守る一番身近な行政組織であり、消防団は、地域に密着し、献身的な活動をしている組織です。

現在、消防の広域化に向けてどの様な状況にあるのか、今後のスケジュール・経済的なメリット等は。

また、消防団の方々は生業を持ちながらの活動をしていきますが、広域化となった場合の指揮命令など、どの様になるのか町民の皆さんへの周知も含めて、状況と進め方について町長の考え方を伺います。

高橋町長 今後のスケジュールは、平成28年4月の運用開始を目指し、平成25年度は広域消防の運営計画の素案を作成します。平成26年度は、新組織の規約の作成を行い19市町村が議会の議決をいただき、北海道知事の許可を受け、平成27年度は準備作業を進めます。

本別町では、デジタル無線



本別消防署

の整備費で約3千9百万円の減額となります。

消防団の方々は、広域的な活動は行わず、従前どおり、管轄する署長の所管のもとに行動します。

地公法第24条第3項と第6項とは

地方公務員法（地方公務員の身分取扱いに関する基本的な事項を定めた法律）**第24条第3項**

・職員の給与は、生計費並びに国及び他の地方公共団体の職員並びに民間事業の従事者の給与その他の事情を考慮して定められなければならない。

第24条第6項

・職員の給与、勤務時間その他の勤務条件は、条例で定める。

地方交付税法第3条第2項とは

国は、交付税の交付にあたっては、地方自治の本旨を尊重し、条件をつけ、又はその用途を制限してはならない。



平成25年度各会計予算書

高橋議員 政府は各地方公共団体に国家公務員の給与を削減するよう強制しています。しかし、このことは**地方公務員法第二十四条第三項及び第六項**に反するものであり、条例制



高橋利勝議員

政府の一方的な地方公務員の給与削減は地方自治に反するのでは
答 意見を本町だけでなく、十勝、全国へ反映させていきます

高橋町長 質問のあったとおりだと思います。十勝町村会も先月、特別決議をさせていただいて、北海道町村会にしっかりと意見を反映し、また全国に反映させるよう取り組んでいます。

条第二項に反するものとなっています。いずれも地方自治の根幹を揺るがすものだと思いますが、考え方を伺います。

定に当たってこれまで尊重されてきた町民の意思、労使協議、議会の意思をないがしろにするものであると思います。また、今回は予め給与削減分を減額し、見合った額を他の事業で補完していますが、そのうちの地域の元気づくり事業については、普通交付税の算定に当たって各地方公共団体の人件費削減努力を反映するものとなっています。

高橋町長 総花的という指摘もありますが、町づくりに必要な項目を並べました。1つには、生涯を通じて学び豊かな心の育む町づくり、2つには地域資源を生かした豊かな町づくり、3つにはともに支えあい、安全・安心に暮らせる町づくり、4つには、快適でやさしさのある町づくり、5つには、町民力、地域力、行政力の発揮できる町づくりの5点であります。

高橋町長 総花的という指摘もありますが、町づくりに必要な項目を並べました。1つには、生涯を通じて学び豊かな心の育む町づくり、2つには地域資源を生かした豊かな町づくり、3つにはともに支えあい、安全・安心に暮らせる町づくり、4つには、快適でやさしさのある町づくり、5つには、町民力、地域力、行政力の発揮できる町づくりの5点であります。

林議員 執行方針、施政方針については、ややもすれば総花的になりやすいとの指摘もあります。目指す方向は何か、重点政策は何か、町長の見解を伺います。



林 武議員

平成25年度町政執行方針について
答 農商工連携、医療、介護、福祉、各々の取り組みに全力を傾注します

林議員 行政は決まったときだけ知らせるといふ厳しい意見もあります。町民ニーズを把握し、スピード感のある施策を図るべきと思うが。

高橋町長 主役は町民のみなさんです。スピード感を持ち応えられるよう対応します。



役場庁舎

福祉社

障がい者総合支援法の対象となる難病患者への対応は

【答】申請にあたっては相手の立場を
考え慎重に対応します

高橋議員

本年4月1日より、

障がい者総合支援法が施行されます。施行に当たって、障がい者支援区分をどのように受け止めているか、また障がい者の応益負担についてどのように受け止めているか、伺います。

さらに、内部疾患などによる難病患者の方々も障がい福祉サービスを受けることができるとなりました。対象者はどのくらいおられるか、またあり方について伺います。

高橋町長

障がい者支援区分については平成26年4月から見直されますが、障がいを持つ方々の状況が最大限尊重される方式であるべきと思っています。

また、障がい者の応益負担

については、根本的なところから考えると応益負担にすぎり整理したほうが将来的にいいのではと考えています。

難病の疾患がある方は、特定疾患の医療受給者証により、成人で70人、児童6人となっています。申請にあたっては相手の立場を考えながら慎重に対応していきます。



障がい者を支援するインクルード

高まる市民後見の必要性と支援体制整備は

【答】安心サポートセンターの活動を支援、
地域相談窓口の充実に努めます



阿保静夫議員

阿保議員 これまでも議論がありましたが高齢化の進展とともに高齢者世帯、独居世帯が増加、成年後見制度の必要性がますます高まると考えます。

執行方針に社会福祉協議会が立ち上げる「仮称『成年後見支援センター』への支援」とありますが、町としてどのようにかわっていくのか伺います。

高橋町長 親族後見始め専門職や法人による成年後見等制度の普及が進む中、第3の後見人として市民後見人の活用が期待されます。

社会福祉協議会で立ち上げる「安心サポートセンター」は（注・3月29日設立）、成年

後見を始め、安心生活創造事業、安らぎ支援事業、法外の資金の貸し付けなど生活密着の事業を一体的に進めます。町としては、地域包括支援センターで実施している相談業務などと役割分担をし、充実に努めます。

注 後見人について

「後見人」は、弁護士や司法書士等の「専門職後見人」、社会福祉協議会や会社などによる「法人後見人」親子等の親族による「親族後見人」と一般市民で養成研修を受けた「市民後見人」があります。



市民後見人養成研修終了者の皆さん

安心サポートセンターの内容とは

成年後見事業の充実を目指すことを契機に、従来の生活に関わる困りごとや、障がいに関わる相談窓口の体制を整理整備しました。主な事業は次のとおりです。

- 成年後見事業～財産の管理が難しい方の支援などをおこないます
- 安心生活創造事業～買い物や掃除など日常生活への困りごとを支援します
- やすらぎ支援事業～認知症の方や、お世話をするご家族を支援します
- 配食サービス事業～お弁当の配達による食の支援をします





教 育

少子化と少人数学級の推進と 本別高校支援への提案

答 理想は30人学級の推進です。
高校福祉学科等は考える会で研究も

阿保議員 少子化で、町内各学校の学級数の維持が厳しい状況と考えますが、次の点について伺います。

- ① 町内小、中学校の学級数の状況と町としての少人数学級の独自の取り組みは。
- ② 本別高校の2間口維持への取り組みと、福祉学科等の創設で学生を集める考えはないか。

中野教育長 ① 新年度、中央小学校は1年生と3年生で1学級、他は2学級。平成29年も2学年で1学級となる見込みです。本別中学校は平成28年までは各学年2学級ですが平成29年度に1年生が1学級となる見込みです。

加配 また、本町では教員10人の加配を受けており、複数指導

を行っています。

② これまで本別高校の教育を考える会等と本別高校の存続を道に要請してきました。

また、町は学力向上対策など支援してきました。福祉学科等については、本別高校の教育を考える会の中で研究したいと思えます。



今日も元気に登校

食物アレルギーの緊急時の具体策は

答 エピペンの処方されている児童生徒はおりません



戸田 徹議員

戸田議員 ① 食物アレルギーの各学校別の3年間の児童生徒数は。

- ② 新入学児童の事前調査では集約上どうなっているのか。
- ③ 平成22年の議会で食物アレルギーの発症を起こした場合、学校で先生がエピペンと自己注射の使用で対応すべきではないかと質問をしましたが、先生はできないとの回答でした。今でもそのとおりなのか。

中野教育長 ① 平成22年度が12名、平成23年度が14名、本年度は17名です。

② 11月の事前調査では7名です。

③ 平成18年からエピペンの使用が認められ、平成20年4月からは、緊急時に教職員が

打つ事は医師法違反でないとの見解です。

本町ではエピペンが処方されている児童生徒はおりません。もしも今後このような状況になった場合は、医師、保護者、学校を含めて十分に協議していきたい。



自己注射ーエピペン

一般会計予算は70億5,666万1千円(前年比11.9%の増)

平成25年度各会計予算審査特別委員会(山西二三夫委員長・11名)は、3月18日、19日に行われ、一般会計ほか6特別会計、2企業会計の予算案を原案のとおり可決しました。

本年度予算編成に当たっては、総合計画に掲げた主要課題を見据え、地場産業の育成・振興と安心・安全な生活基盤の充実に向けた取り組みを着実に推進し、予算の重点化、効率化に努め、将来の自主財源の確保など、財政基盤の確立にも配慮した予算編成を行いました。全会計を合わせた予算総額は119億591万8千円で、対前年度比6.3パーセントの増となっています。主な質疑内容は次のとおりです。

一般会計

防災用資機材

問 防災資機材の保管場所はどこか。又、どのような年次計画か。

答 25年度から3年計画で購入します。購入した資機材は空いている公共施設に一時的に保管をし、国の補助金等が利用できれば、備蓄倉庫の建設も検討していきます。

街路灯LED化

問 LEDは暗いというところで、やはり場所によっては間隔があいて

危険なところもあると思うが、毎年巡視しているか。

答 LEDが暗いという苦情等については聞いておりませんが、自治会長さんを通じて場所が暗い、追加したほうがいいという御意見等は聞いています。巡視はしておりませんが、自治会を通じて情報を得て対応していきます。



資料館前のLED灯

チャレンジ雇用

問 障がいをお持ちの方をチャレンジ雇用すると聞いていますが応募状況は。

答 1名の応募がありました。

問 応募が少ないという感じがするが今後このチャレンジ雇用を継続していく考えか。

答 パートとして就労の体験をすることに より中間的就労から一般就労へとつなぐ訓練の場として1年間、様子をみながら行っていければと考えています。

敬老祝い金

問 敬老祝い金77歳の分が廃止と聞かすが、経緯について伺いたい。

答 平均寿命が77歳を超えている今、見直しの意見が出され、廃止をする方向で進めています。又、88歳に贈呈している年齢を85歳に引き下げをする見直しについて、1年時間をかけて関係団体の皆様に説明をしながら26年度からの実施に向け進めていきます。

除雪サービス

問 ①一人暮らしの方や除雪に困っている方から、どこへ頼んだらいいのかわからないという声が聞かれます。わかりやすい取り組みについての考え方は。

②車椅子など足の不自由な方が除雪10センチまで待てないという状況です。将来的に検討なり見直す必要があると思いますが。

答 ①除雪サービスの対象になるという方は、民生委員さんに情報をいただいで進めております。十分に高齢者の方、安心して頼めるよう周知していきたいと思っております。

②積雪の量で決めるのではなく、状況をみながら判断し臨機応変にできるように検討していきたいと考えます。

循環バス待合所

問 南1丁目どの辺りが設置されるのか。

答 内科クリニックの駐車場に設置させていただきます。カラマツ材を使用した屋根、壁がある一坪くらいのおおきさの建物を準備しています。



現在の南1丁目バス停

ゴミ収集埋立地

問 埋立地は何年かすると満杯になると聞いている。埋立てゴミを減らさないためなのではとの話がでているが、現状は。

答 当初、平成29年度で満杯になる状況でした。再度、調査をしたところ2、3年延長は可能と報告を聞いています。

平成24年度中から三町の担当者で、これからいついてどのような方向がよいのか、今協議をし検討しているところです。

てん菜作付振興透排水性改善事業

問 4年間でこの事業を打ち切る考え方について、見解をお聞きをしたい。

答 本町農業は、ピート、麦、豆、ジャガイモの4品輪作体系をとっています。

その中で4年に1度は必ず1回はこの事業にのれることから事業実施期間を4年としています。

問

今後も継続していかう考えは。

答 この事業によって1回はすべてのほ場が行き渡るまで実施する考えです。

事業実施期間以後については関係団体、農協や製糖工場と協議をさせていただき前向きに努力します。



増反を目指すビート畑

美蘭別地区の営農用水事業及び水源調査

問 ボーリング調査を行うことになっていますが場所はどこで、受益戸数はどの位ですか。

答 場所は、上美蘭別の活込付近から山を越して下がってきたところで、上美蘭別、下美蘭別、勇足西の一部、押帯の一部、

高美蘭別の地区で、受益戸数は30戸、人数は90名程度です。

橋りよりの長寿命化

問 ①橋りよりの長寿命化計画は何年の計画か。

答 ②幸栄橋の工事は26年の春以降が予想されるが、その間交通止めなどや、パトロール強化の考えは。

また、工事はできるだけ早く進めることはできないか。

答 ①計画は10力年で、5年ごとに点検します。

②状況の変化によって、危険と判断したときは、通行止めを行ったり見回りも強化します。幸栄橋については25年度は調査し、工事は26年度の予定です。



改善が待たれる幸栄橋

御所バリアフリー化

問 ①御所は5棟とも玄関入口含め、細かく段差がある部分について、整備されるのか。

②車椅子対応として、ベットの設備は考えているか。



バリアフリー化する御所

答

①幹線園路から御所に入るまで支障がないように、御所全体の床を下げます。又、トイレを広くし、お風呂は介護者がいれば入浴できるよう、一坪タイプに大きくします。細かい段差については、全て解消します。

②和室が2部屋のところをベッドが置けるよう、1部屋を洋間にします。工事が完成が12月以降ですので、配置については26年度予算で検討します。

本別高校の教育を考える会

問 高校の間口維持等の取り組みが、山場を迎えていると思いますが、町としてどのように関わっていくのか。

答

学び輝く学校支援委員から、本別高校の進学・就職の実績を残すことや部活動の充実などの魅力づくりをさらにしてほしいという意見がありました。これまでも小中高の連携を図ってきましたが、先般、小中学校と高校の教頭先生が集まっていたいただき、連携教育や部活動などについて話し合ってもらいました。考える会として相談し、本別高校へは4月早々話し合っています。



本別高校

仙美里中学校閉校記念事業協賛会

問 事業の内容はどのようなものか。

答 協賛会を中心に最後の年にふさわしい事業をとということで、各種学校行事の運動会、文化祭など内容を充実し、最後には記念式典、借別の会等行います。

図書館喫茶コーナー

問 ①喫茶コーナーに障害をもつ方の雇用をしていく考えはないか。

答 ②喫茶コーナーの場所はどこで、飲み物の提供はどのようなものか。

答 ①運営はボランティアアぶつくるの自主運営ですが、障がいをもつ方の雇用はチャレンジ雇用の中でかかわりを持っていきます。

②場所は、貸し出しカウターの資料館寄りに、4卓16席設け、メニューはコーヒートとジュースの2品目です。

太陽の丘の野球場の建設

問 地域の元気臨時交付金について野球場建設に至った経緯は。

答 平成4年度の総合運動公園基本構想案から20年経過しており、その間大雨、台風で河川敷の球場が冠水し数度使用不能となりました。又、使用の制約もあるため、新球場の要望は毎年上がってくる現状でした。有利な補助金を捜す中で、今回の補助金によって建設ができる運びとなりました。



野球場建設予定地

学校給食共同調理場改築工事

問 光熱関係はオール電化と一部ガス釜を

導入し、停電時にも炊飯は十分対応できるとのことだが、室蘭での倒木事故による緊急停電のような事態になった場合、給食センターを利用することも想定されます。発電機のリース対応はできるのか。

答 緊急時でのリースは難しいと感じますが、町で災害時に発電機等をリース会社と協定を結んでいますので、調理場としても災害時に向けての協定を結んで、早めに対応できるように考えています。

総括質疑

問 今年度、投資的経費が約20億円もあります。今まで交付税が削減され、厳しい状況の中、町の予算方針はハードからソフトでした。しかし25年度はハードが多く従来とは逆行していると思います。町民に予算について公開することが大事と考えますが、町としての見解は。

答 この間、投資的経費は約10億円ぐらいにずっと抑えてきました。今回20億円にはなりましたが、財政的には想定の中の普通建設事業と捉えています。ハードも突出したわけではなく、計画的に推移していると思っています。

問 今回20億円にはなりませんが、財政的には想定の中の普通建設事業と捉えています。ハードも突出したわけではなく、計画的に推移していると思っています。

答 今回は国が大きな景気対策を打つたため、ハードを整備するチャンスができました。町民に対する説明については、まず、自治会の研修会含めて行っていく考えです。

公共下水道特別会計

汚泥処理、運搬

問 汚泥処理の今の状況は。

答 汚泥利用組合が当初の5戸から3戸に減っています。薬剤によって処理された汚泥が、農機にねばつき、非常に扱いづらいとの実態があります。これ以上町内の方々が止めないで、受け入れして

いただくために、報償費を約50%引き上げます。

国民健康保険病院事業会計

医師の確保

問 医師の確保の見通しは。

答 常勤医師は現在4名で、募集についてはは内科、外科1名ずつです。患者数の動向や当直業務を考慮し当面1名の医師の確保に引き続き努力していきます。現在の問いあわせ状況は、24年度中インターネット等で、16件あり、そのうち2名の方と面接しています。



町国保病院

委員公云しレポート

総務

常任委員会

調査日／平成25年1月25日

○学校給食共同調理場改築調査設計委託について

基本的な理念

- 一「高い衛生管理と安全・安心でおいしく栄養のバランスのとれた給食の提供」ハサップ方式によるドライシステム。食物アレルギーのある児童生徒に対応できる調理施設。
- 二「食育の推進と情報発信機能の充実を目指した施設」
- 三「環境に配慮した効率的で質の高い施設・設備の導入」

改築の内容

- ・ 建築場所 現在地隣。
- ・ 概要 鉄筋コンクリート2階建て。町内のカラマツ材を事務室、研修室、廊下等化粧材として使用。電気主体。災害時ガス併用可。太陽光パネル（20KW未満）平成26年度整備。

平成25年8月 工事着工
平成26年4月 供用開始
・ 事業費

①概算額 6億7千3百万円（施設工事費等）

②財源

交付金 4千5百万円
過疎債 5億6千8百万円
一般財源 6千万円

まとめ

長年の懸案事項であった改築に踏み切ったことで、児童生徒に、食物アレルギー対応を含めた、安全・安心な給食の提供ができ、喜ばしいことです。しかし、事業の概算額のほとんどが借入金であり、他の事業に影響が及ばないか懸念されます。財源について交付金の他に、有利な財源確保ができないか一層の努力を期待します。また、高校、勇足、仙美里保育所への給食提供も保護者等の希望が多いことから検討課題と考えます。

今改築は、高額な事業費となることから、地元のカラマツ材の使用や、太陽光を利用することなど、広く町民の皆さんに周知し、理解をいただきながら進めるべきと考えます。



現在の給食センター

産業界厚生

常任委員会

調査日／平成25年2月6日

○入院・外来患者数、診療体制、事業収益の状況と今後の見通しについて

(1) 入院・外来患者数、事業収益の状況について

入院患者数では、平成24年4月～12月で前年対比0.1%増（20人増）の1万3,819人で、外来患者数は4.9%増（2,433人増）の4万8,150人となっております。

また、入院収益は、平成24年4月～12月までで前年対比10.4%増の3億6,525万8千円となっております。外来収益では、2.3%減の3億5,247万4千円、合計すると7億1,773万2千円、2,629万円の増となっております。

(2) 人工透析の状況

入院は月平均7～8人、外来は月平均49～53人です。平成23年度年間総収益は、外来で2億2,392万5千円、入院では5,057万5千円、合計で2億7,450万円となっております。

(3) 内科医師退職後の影響について

平成24年9月末に内科医師1人が退職。同年10月から12月の内科の外来患者数は前年比で各月約200人から400人の減となっておりますが、入院患者数が増えているので収益的に見ますとあまり大きな影響がでないと思います。

(3) 接遇状況について

全職員を対象に行う研修は、DVDを使った研修や看護師長が講師となつて「患者満足度はどうすればあがるのか」について研修をし、併せて参加者アンケートを行つていきます。

まとめ

今後の診療体制について常勤医師確保が緊急の課題であります。

本年6月に足寄国保病院で透析診療が開始されます。本町国保病院の経営にとっては収益の減は否めないのではないかと思います。

本町国保病院の診療科目は8科があることから、地方の病院として大切な病院だと思えます。



町国保病院ナースステーション

意見書

第1回定例会では3件の意見書が提出され原案可決されました。意見書の要旨は、次のとおりです。
【要旨掲載】

環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加に反対する意見書

TPPは国民生活のあらゆる分野に大きな影響を及ぼし、国の主権にもかかわる重大な問題です。

「日米の共同声明」では関税と非関税障壁の撤廃が明記されていますが、国民生活に深刻な打撃となるTPP推進は絶対に許されません。

提出者 阿保静夫 **可決**

平成25年度地方財政対策に関する意見書

国の平成25年度税制改正大綱では、国家公務員の給与減額支給措置に準じて地方公務員の給与削減を求め、ために地方交付税を削減したことは、極めて不合理な措置であり、今回のような措置を二度と繰り返さないよう強く要望する。

提出者 高橋利勝 **可決**

生活保護制度の見直しと生活困窮者対策の充実を求める意見書

1 生活扶助基準に連動する制度に影響を及ぼさないこと。

2 地方自治体とハローワークが一体となった就労支援体制を大幅に強化すること。

3 ケースワーカーの増員に伴い、地方自治体の負担を軽減すること。

提出者 高橋利勝 **可決**

行政報告



3月5日第1回定例会において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

第1回定例会

24年度一般会計の財政状況

1月末現在の一般会計は歳入が収入済額50億764万6千円で71.5%の執行率、歳出が支出済額48億6,799万3千円で69.5%の執行率となっています。国からの普通交付税は前年度比1,330万4千円

減の29億9,806万7千円になる見込みです。

白糠町との連携協定締結について

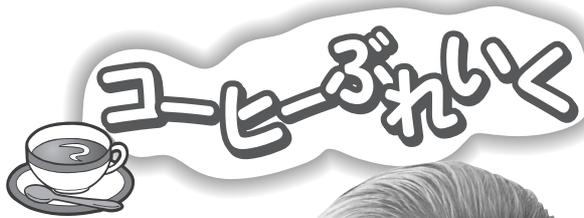
この度、北海道自動車道本別・釧路間の開通を控え、異なる気候風土、産業、伝統・文化を有し、また当町と隣接し釧路圏の入口となる白糠町との間において、互いの持つ地域資源を活かし、魅力を認めあい切磋琢磨して地域づくりに取り組みむことを目的に包括交流連携の協定を締結する運びとなりました。

この取り組みは、今後の地域振興の新たな方策のひとつとして、北海道が進める「包括交流連携」事業により推進するものであります。両町の交流を一層促進することにより、新たな地域間連携の形として、地域相互の様々な連携を通じ、人や物の行き来を活性化させ地域の活性化を目指し、産業、スポーツ・文化、そして災害対策などの分野において、それぞれの地域の特性を尊重し補完しあいながら、連携協力して多様な取り組みを積極的に推進するものであります。

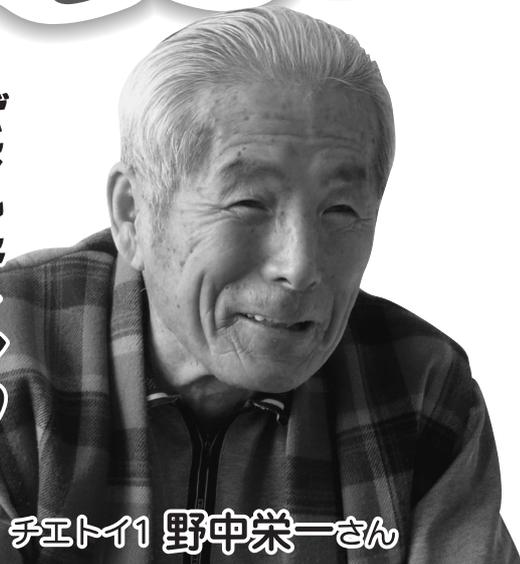
（3月22日締結）



道庁で行われた調印式



ボランテニアの
 気持ちがなければ
 世の中良くならない



チエトイ1 野中栄一さん

「今回、初めて傍聴しました」と話す野中さんは、チエトイで営農して55年になるとのこと。農業委員を3期つとめ、現在、地域の老人クラブ会長として活躍しています。

議会の傍聴については、「人間死ぬまで勉強」、「知らないということはだめなので議会というのはどういうものか見なければ」という思いで臨んだそうです。

野中さんは「それぞれ真剣なやり取りがされていたと思う」、「30代40代の議員がないことが少し残念で

すね。この世代の若い人に頑張ってもらいたい」として「もう少し町民の皆さんが議会を傍聴に来てくれるといいね」と感想を語ってくれました。

また、つい最近まで病院モニターを3年間やっていたですが、赤字対策や患者対応について率直な意見を述べてきたそうです。

農閑期の冬には様々なアルバイトを一生懸命やってきましたそうですが、「人間『早起き』、『正直』、『働く』の3拍子で人生困ることはない」として「ボランテ

アの気持ちがあれば世の中良くならない」ときっぱりと語る野中さんの生きざまが伝わってきました。

議会日誌

〔 2 月 〕

1/25～2/2日



- ほんべつ雪あかりナイト協力
- 6日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 14日 議会運営委員会、議員協議会
- 18日 第1回臨時会
- 19日 第1回一部事務組合議会定例会（帯広市）
- 22日 十勝町村議会議長会定例会（帯広市）

〔 3 月 〕



- 1日 議会運営委員会
- 5日 第1回定例会開会、議員協議会、産業厚生常任委員会、議員会役員会
- 8日 議会運営委員会
- 12日 本会議（一般質問）、ナイター議会
- 13日 本会議（議案審議、予算説明）、広報特別委員会
- 14日 予算審査事前勉強会
- 18日 各会計予算審査特別委員会
- 19日 各会計予算審査特別委員会
- 21日 本会議（議案審議）
- 27日 池北三町行政事務組合議会（足寄町）
- 29日 広報特別委員会
- 30日 帯広市本別会定期総会（帯広市）

〔 4 月 〕



- 10日 議会運営委員会、議員会役員会、議員協議会
- 12日 広報特別委員会
- 16日 町民懇談会（体育館、勇足地区公民館）
- 17日 広報特別委員会、十勝議長会定例会
- 18日 町民懇談会（健康管理センター、仙美里地区公民館）
- 19日 町民懇談会（ふれあい交流館、美里別地区公民館）
- 22日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 25日 総務常任委員会所管事務調査
- 26日 第2回臨時会

議会についての ご意見をお寄せください

「ほんべつ議会だより」を見て議会に対するご意見やご希望など、どんな事でも結構です。どうぞ議会事務局までご連絡ください。
 TEL 22-8123/FAX 22-2147

